平成24年11月22日都 市 計 画 局

(担当:歩くまち京都推進室) (電話:222-3483)

地域・大学・企業等と連携 "歩くこと"を中心としたライフスタイルを目指して!

一 3事業決定 -

京都市では、平成22年から、大規模なモビリティ・マネジメントを体系的に実施する「スローライフ京都」大作戦を推進しています。

本年8月に、「スローライフ京都」大作戦を推進する事業(地域や大学、企業等、本市と連携して取り組むモビリティ・マネジメント)を募集したところ、3件の応募がありました。

この度、本市が支援する事業3件全てを選定しましたので、お知らせいたします。

記

○ 支援する事業 (詳細は別紙のとおり)

| 事業名 | 実施体制(※応募代表者) | 支援額 |
|-----------------------------|-----------------|------|
| 事 未但 | 天旭仲间(A/心务)(3X石) | (千円) |
| 左京区総合庁舎の移転に伴う公共交通機関の利用促進に向け | • 京都工芸繊維大学※ | 300 |
| た取組 | • 京都精華大学 | |
| | ・松ヶ崎自治連合会 | |
| | ・京都バス | |
| | • 京都市交通局 | |
| | • 左京区役所 | |
| 宿泊施設と連携した公共交通を中心とした観光移動商品の展 | · 平安女学院大学※ | 300 |
| 開と移動時におけるボトルネックの発見 | ・京都府旅館ホテル生活衛生同業 | |
| | 組合青年部会 | |
| 高倉校区「通りの復権」促進MM | ・高倉小学校PTA※ | 300 |
| | • 中京区役所 | |
| | ・高倉小学校 | |
| | ・京都大学 | |

モビリティ・マネジメント (MM) とは

「かしこいクルマの使い方」を考えて実践していただくため、例えば、交通手段の出すCO2排出量の 比較などを盛り込んだ動機付け情報や、個人の交通行動を考えるうえで最もわかりやすい情報である公 共交通利用促進マップ、交通行動に関するアンケート、更にその結果のフィードバックなどを活用した コミュニケーションを図り、自発的な交通行動の変化を促すこと。

| 1 | | T | , | | (/3 | 1が八) |
|---|---|--|---|------------|--|-------------|
| 事業名 | 実施体制 | 応募代表者 | 事業概要 | 実施対象 | 予定スケジュール | 支援額 (千円) |
| 左京区総合庁舎の移転に伴う 公共交通機関の利用促進に向 けた取組 | ・京都工芸繊維大学 ・京都精華大学 ・松ヶ崎自治連合会 ・京都バス ・京都市交通局 ・左京区役所 | 〇応募代表者 京都工芸繊維大学 大学院工芸科学研究科 講師 佐々木厚司 | 左京区総合庁舎の移転に伴い、主要な交通アクセスとなっている市バス 4 号系統、65 号系統、京都バス 56 号系統及び地下鉄の幅広い利用促進を図るため、以下の事業を実施する。①ワークショップの開催 (2回)②ポケット時刻表の作成および配布③京都バス 5 6 号系統の乗降客数調査 | ○松ヶ崎地域住民 | ○平成24年10月 ・第1回ワークショップ開催 ○平成24年11月 ・乗降客数調査 ○平成24年11~1月 ・ポケット時刻表作成 ○平成25年1月 ・第2回ワークショップ開催 ○平成25年2月 ・総括,報告 | 300 |
| 宿泊施設と連携した公共交通を中心とした観光移動商品の展開と移動時におけるボトルネックの発見 | ・平安女学院大学・京都府旅館ホテル生活衛生同業組合青年部会 | 〇応募代表者 平安女学院大学 国際観光学部准教授 井上学 | 入洛観光客にフリー乗車券・カード類を利用してもらい、 公共交通の利用が環境にやさしい移動手段であることを意識 してもらうことで、日常生活の交通行動の変容を促す。 また、公共交通の利用を通じて、乗換時のボトルネックと なるところを明らかにし、次回以降の入洛時に公共交通を積 極的に利用してもらえるよう改善を進める。 さらに、宿泊施設と連携してフリー乗車券・カード類付き の宿泊プランを提供し、公共交通を利用した観光商品の販売 手法を検討する。 これらを通じて、自動車利用の抑制が実現された街づくり を目指す。 | ○京都を訪れた観光客 | ○平成24年10月 ・実施計画の策定 ・関係機関との協議 ○平成24年11月 ・アンケート作成 ・アンケート協力者募集 ○平成24年12月 ・アンケート実施 ○平成25年1月 ・アンケートの集計分析 ○平成25年2月 ・総括,報告 | 300 |
| 高倉校区「通りの復権」促進 MM | ・高倉小学校PTA ・中京区役所 ・高倉小学校 ・京都大学 | ○応募代表者 高倉小学校 PTA 会長 菊池正和 | 高倉校区内の主にまちなか細街路の安心安全確保を目的として、PTA及び校区内自治連合会等を通じて、啓発情報の提供とともにアンケートを実施し、地域の交通状況の実態把握と交通行動の変容を促す。 | ○高倉学区住民 | ○平成23年11月 ・TFPの設計 ○平成23年12月 ・TFPの配布,回収 ○平成24年1月 ・集計,分析 ○平成25年2月 ・総括,報告 | 300 |